

## 令和6年度 第4回川口市上下水道事業運営審議会会議録

1 日 時	令和7年1月14日（火） 開始 午前10時30分 終了 午後 0時10分
2 場 所	水道庁舎2階 中会議室
3 議 題	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」の改訂について</li><li>(2) 「川口市公共下水道事業経営戦略」の改訂について</li><li>(3) 水道料金・下水道使用料のあり方について</li></ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 令和5年度川口市水道事業会計決算について</li><li>(2) 令和5年度川口市下水道事業会計決算について</li><li>(3) 令和6年度上下水道事業評価（中間）の結果について</li></ul>
4 出席者	<p>審議会委員</p> <p>会長 石井 晴夫、副会長 若谷 正巳、山口 俊子、 厚井 富子、増田 壽雄、寺田 美雅、若松 賢志、 増井 真也、今井 巍、池田 真澄、高柳 早希の各委員 (欠席委員：田中 宏明、高田 淳、渡邊 謙、松本 倫子の各委員)</p>
	<p>市側</p> <p>小池上下水道事業管理者、沼口管理部長、田中事業部長、 本多上下水道総務課長、藤田財務課長、芝崎料金課長、 鈴上水道維持課長、小島上水道建設課長、池上浄水課長、 高木下水道維持課長、山本下水道建設課長、 秋場ポンプ場管理センター所長 尾熊上下水道総務課庶務係長、高橋上下水道総務課経営企画係長、 出牛財務課上水道財務係長、合田財務課下水道財務係長、 下形上水道維持課審査係長、熊井上水道建設課計画係長、 斎藤浄水課浄水管理係長、三上下水道建設課計画係長、 秋山ポンプ場管理センター副主幹、 畠山上下水道総務課庶務係主任、渡辺上下水道総務課庶務係主任、 大堀上下水道総務課庶務係主事 野口上下水道総務課経営企画係主査、 大田上下水道総務課経営企画係主事</p>

	<p><b>5 議事内容【要点筆記】</b></p> <p>(開始 午前10時30分)</p>
司 会 (上下水道総務課庶務係長)	<p>開会を告げる。 本日の出席委員は半数を超えており、この会議は成立している。 石井会長に挨拶を願う。</p> <p>(石井会長挨拶)</p>
司 会	<p>事務局を代表して上下水道事業管理者から挨拶を行う。</p> <p>(管理者挨拶)</p>
司 会 議 長	<p>これより、会議の進行については、審議会設置条例第6条第1項により会長に議長をお願いする。</p> <p>審議会は原則公開となっており、本日の傍聴希望者は4名である。 傍聴人にお入りいただきてよろしいか。</p> <p>(異議なしとの声あり)</p> <p>(傍聴人入室、着席)</p>
議 長	<p>それでは、審議事項（1）「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」の改訂について、および審議事項（2）「川口市公共下水道事業経営戦略」の改訂について、事務局に一括して説明を求める。</p>
上下水道総務課長	<p>(資料に基づき、説明する。)</p>
議 長	<p>それでは、質問等があれば、お願いする。</p>
委 員	<p>BPRについて、令和7年度の取り組みはどのようなものが予定されているか。 また、埼玉県営水道の値上げに伴い、令和10年度には、支出が収入を上回る見込みとある。本市における上下水道事業の経営のあり方について、業務効率化や経費削減などの取り組みもあるが、ベースとなる水道料金の改定を視野に入れなければならない。このことについて、具体的にどのように考えているか。</p>
上下水道総務課長	<p>令和7年度のBPRについて、令和5年度、令和6年度と同様に各課から1名選出し、実践していく予定である。業務に関する課題は、各課に共通するものもあるため、その解決策を共有することで、上下水道局全体に良い影響を与えていく。今後も継続して取り組んでいく。</p> <p>12月の埼玉県議会の定例会で埼玉県営水道、また流域下水道の維持管理・建設負担金の値上げが決定した。同じ業界であるため、埼玉県が料金改定をしなければならない要因となった資材価格や人件費の高騰など、コスト面の変化は本市における水道料金のあり方についても当てはまる。</p> <p>これまで、経費節減や経営の効率化に取り組んできたが、強固な経営基盤を構築しなければ、安全安心な上下水道事業の経営は継続できないとも考えている。</p>

議長	<p>ガス事業者と連携してのBPRは非常に重要である。地中埋設物において、管路で結ばれているものは、都市ガスと水道のみである。都市ガスは、災害対策においても様々な機器やシステムサービスが開発されている。管路の種類や種別についても技術革新が進んでいるため、令和7年度は災害対策に関する知見をさらに吸収し、災害対策への取り組みを進めてほしい。</p> <p>それでは、質問等があれば、お願ひする。</p> <p>(質問なし)</p>
議長	それでは(3)水道料金・下水道使用料のあり方について、事務局に説明を求める。
上下水道総務課長	(資料に基づき、説明する。)
議長	<p>下水道使用料について説明をする。</p> <p>汚水の排除、処理にかかるコストは、一般的に法律に基づいて下水道使用料で賄われている。他方、汚水に混入する不明水などの処理にかかるコストについては、基準内での繰出しが認められている。今回改訂する計画では、令和8年度に17.3億円、令和9年度に15.2億円、令和10年度に14.4億円にのぼると見込んでいる。市長部局の一般会計から繰出しをしていることについては、法的に問題はないと考える。しかし、福祉や介護、子育てなど様々な公共事業に充てる財源を削ることになるため、市としても非常に懸念している点もある。手持ち資金がなくなるということは、災害時に緊急対応ができないという非常に厳しい綱渡りの状態にあるということが分かる。</p> <p>それでは、質問等があれば、お願ひする。</p>
委員	<p>市区町村単位で上下水道事業を継続して行う中で、どのように技術の研鑽や研究を行っているのか。民間企業でこれだけの事業を行う場合、継続した研究所があったり、最新の技術をどのように取り入れていくか検討したり、長期的な計画がある。行政の場合、人事異動などにより技術や経験の蓄積が困難な中で、利益も出さなければならぬ。企業として能力が上がっていく方法が他にあるかもしれない。</p> <p>また、近隣他市の事例も挙げて説明したほうが良い。</p>
上下水道総務課長	<p>市区町村の職員は、定期的な人事異動があるため、技術力の継承が深刻な問題である。現在も全国単位で開催される研修への参加、ベテラン職員と若手職員の配置を考慮するなど、技術の継承に努めているが、非常に厳しい状況である。</p> <p>国からは、官民連携や広域化も推奨されているが、BPRも膨大な経費を削減できるというわけではない。</p> <p>近隣他市も大変厳しい状況であると聞いており、埼玉県内で最も安い水道料金であった戸田市も料金改定を決定した。</p>
議長	<p>現在、市区町村が經營する上下水道事業として、全国に約1,300ある水道事業体や下水道事業を実施する自治体を束ねているのが、日本水道協会と日本下水道協会であり、技術の継承やマネジメント、経営努力の向上などの研修を実施している。国においても、水道整備・管理行政が厚生労働省から国土交通省および環境省へ移管され、昨年には様々な研究会や委員会、検討会が立ち上がっている。また、上下水道一体となる再編をはじめ、能登半島地震以降も災害対策や各種の予算措置も実施されている。しかし、本家本元である市区町村の經營基盤が脆弱であっては、どうすることもできない。</p> <p>埼玉県営水道の値上げは如何ともし難い。卸価格の上昇に対しては、市の努力では吸収できない問題である。</p>
委員	官民連携において、民間のコンサルティングというのは、水道専門のコンサルティングがあるのか。

議長	大手企業から中小企業まで数百社はある。多くの地方公共団体や水道事業体では、すでにコンサルティングを受けている。技術継承の問題は、水道業界全体が一致団結して取り組まなければならない課題である。
委員	クレジットカードおよびスマートフォンのキャッシュレス決済の導入について、利用割合が伸びてないのではないか。
料金課長	クレジットカードおよびスマートフォン以外にも口座引落もキャッシュレス決済と考えると、現状約7割程度がキャッシュレスである。令和3年度から開始したため、今後も広報等を通じて進めていく。
委員	キャッシュレス決済による手数料、コストはかかっているか。
料金課長	手数料は、コストとしてかかっている。できるだけ費用が掛からないように検討している。
議長	クレジットカード決済の手数料について、全国的に値上げを予定している傾向がある。利便性とコスト負担の両面で検討していかなければならない。基本的な生活インフラの手数料を集中的に上げるということは、生活インフラを提供する事業体として、非常に厳しい局面に差し掛かっている。
管理部長	キャッシュレス決済だけでなく、コンビニ収納であっても同様に一定の手数料がかかる。利便性や確実性、コストを勘案し、キャッシュレス決済への移行を推進している。
委員	水道料金など公共料金の支払いをクレジットカード決済に変更した場合、ポイントプレゼントといったお知らせが届く。クレジットカード決済の手数料が上がる可能性があるということで、勉強になった。
委員	配布資料の量が多く、内容自体も大変難しいものである。市民に説明する際もこのままの資料か。多言語ややさしい日本語を使用した資料が用意されるのか。
上下水道総務課長	経営の専門用語や上下水道事業に関する聞き慣れない言葉もある。文字ばかりの資料ではなく、見やすい資料にすることや、難しい言葉も分かりやすい言葉で丁寧に説明していく。紙媒体だけでなく、ホームページ等も活用し、発信していく。
委員	市役所では、たくさんの紙物があり、どれを手に取って良いか分からない。川口市は、公式SNSなどDX化を推進している。分かりやすいため、活用して発信してほしい。
委員	ロサンゼルスの火事に関するニュースを見た。ガス爆発や強風による大きな火事が発生した場合はどのような対応になるのか。
上下水道総務課長	水道事業では、市内に設置している消火栓を整備している。これは、市長部局の一般会計を財源として行っている。火災の際にはこの消火栓を使用し、消防活動することもある。今後も継続して整備を行う。 また、ロサンゼルスの火災において、上下水道にも大きな影響があると危惧したのは、水質の悪化である。火災によって、水道の水質が悪化し、水道水が飲料水として使えないとの報道もあった。火災も含め、いつ起きるか分からない甚大な災害についても、上下水道局として常に危機感を持ち、先手先手で各事業を進めている。

議長	ロサンゼルスと日本では、水供給に関する環境条件が大きく異なっている。
委員	会議冒頭にも挙げたが、令和10年度には支出が収入を上回るとあった。また、適正な水道料金と下水道使用料の設定が必要とのことだが、具体的な考えは。
上下水道総務課長	BPRをはじめ、経費節減や業務効率化を図っているが、収益は減少し、経費、コストは増加している。経営基盤を強化していくために、そして、安全・安心な上下水道事業を経営していくためには、財源の確保も重要だと考えている。水道料金、下水道使用料のあり方について、また、収入の確保やその周知方法についても、意見をいただきながら検討、周知をしていく。
委員	今後の審議会では、具体的な数字を出さないと議論が進まないのではないか。その点について、どのように考えているか。
上下水道総務課長	具体的な数字を出すためには、今回審議いただいた「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」および「川口市公共下水道事業経営戦略」の改訂を決定する必要がある。この2つの改訂は、承認いただいたという認識でよいか。
議長	審議の中で反対意見は特段見受けられなかつたが、この計画に基づいた水道料金、下水道使用料の設定については、今後、具体的な数字を提示し、それに基づいて議論をすることが非常に重要である。次回の会議で事務局から具体的な改定案をお願いする。
上下水道総務課長	改訂を検討するにあたり、今後、補てん財源が枯渇し、財政状況が厳しくなる時期や具体的な数字が明白になった。本日の審議において、水道料金の改定を検討すべきという意見をいただいたものと認識している。値上げが相次ぐ社会情勢の中、水道料金を改定する場合の具体的な改定率や改定幅を検討し、次回以降、改定案をいくつか提示する。
議長	それでは報告事項（1）令和5年度川口市水道事業会計決算について、事務局に説明を求める。
財務課長	(資料に基づき、説明する。)
議長	それでは、質問等があれば、お願いする。
	(質問なし)
議長	それでは報告事項（2）令和5年度川口市下水道事業会計決算について、事務局に説明を求める。
財務課長	(資料に基づき、説明する。)
議長	それでは、質問等があれば、お願いする。
	(質問なし)

議 長	それでは（3）令和6年度上下水道事業評価（中間）の結果について、事務局に説明を求める。
上下水道総務課長	（資料に基づき、説明する。）
議 長	それでは、質問等があれば、お願ひする。
	（質問なし）
議 長	以上で、本日の議題は終了した。 議事が終了したので、会議の進行を事務局に戻す。
司 会 (上下水道総務課庶務係長)	本日の審議の内容は、川口市ホームページ及び市役所市政情報コーナーで公開する。 今後の審議会の日程をお知らせする。 次回の審議会は、令和7年3月19日水曜日、午後2時30分から、上下水道庁舎の中会議室を予定している。 以上で、本日の審議会を終了とする。
	（閉会 午後0時10分）